

# 株式会社デリカフレンズ

## 2023 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)



作成日: 2024年6月1日

## 目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7~8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10

# デリカフレンズ環境経営方針

## ＜基本方針＞

デリカフレンズは、「お客様に安全で安心そして美味しい商品を提供する企業でありたい」という基本理念のもとに事業展開しております。食品企業である私たちは、食文化を通じて地球環境に「やさしい」企業活動に努め、豊かな自然環境を次の世代へ継承する、社会に貢献できる企業を目指します。地球環境問題は経営の最重要課題と認識し、持続的発展可能な社会を目指し、低炭素・循環型社会を目指した環境経営への実現に参画します。

## ＜環境保全への行動指針＞

1. 私たちは、地球環境に「やさしい」商品作りを目指します。
2. 私たちは、地球環境汚染の防止と環境保全のため活動に取り組みます。
  - ・製品ライフサイクル全体から排出される温室効果ガスを抑え、低炭素社会へ貢献します。
  - ・地球温暖化防止のための省エネ、再資源を推進します。
  - ・食品廃棄物など発生抑制に努め、食品リサイクル率の向上に努めます。
  - ・次世代のための食資源の確保と水資源の保全に貢献します。
3. 私たちは、安心して安全な商品を効率よくタイムリーにお届けし、不良率の削減に努めます。
4. 私たちは、環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守し環境保全に努めます。
5. 私たちは、環境活動への参加、支援に積極的に取り組みます。
6. 私たちは、環境経営レポートを作成し、環境経営方針は全従業員に周知し、環境問題に対する意識の向上を図るとともに公表します。



株式会社 **デリカフレンズ**

代表取締役社長 **徳永 巧**

制定日：2018年8月20日

更新日：2023年4月1日

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社デリカフレンズ  
代表取締役社長 徳永 巧

(2) 所在地

本社・筑後工場 福岡県筑後市大字久富1343番5号  
佐賀工場 佐賀県杵島郡白石町大字馬洗1540番1号  
鹿児島工場 鹿児島県始良市加治木町木田1377番19号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 本社・筑後工場 総務課係長 神之村 大輔 TEL:0942-54-2332  
担当者 鹿児島工場 総務課主任 濱田 伸司 TEL:0995-63-9716  
佐賀工場 総務課係長 山口 裕之 TEL:0952-84-6266

(4) 事業内容

弁当、おにぎり、調理パンの製造

(5) 事業の規模

売上高 1,550,400 万円

	本社 筑後工場	佐賀工場	鹿児島工場	合計
従業員 名	476 名	376 名	539 名	1391
延べ床面積 m <sup>2</sup>	7806 m <sup>2</sup>	4020.87 m <sup>2</sup>	13665.24 m <sup>2</sup>	25492.11

(6) 事業年度

4月1日～3月31日

□認証・登録の対象組織・活動

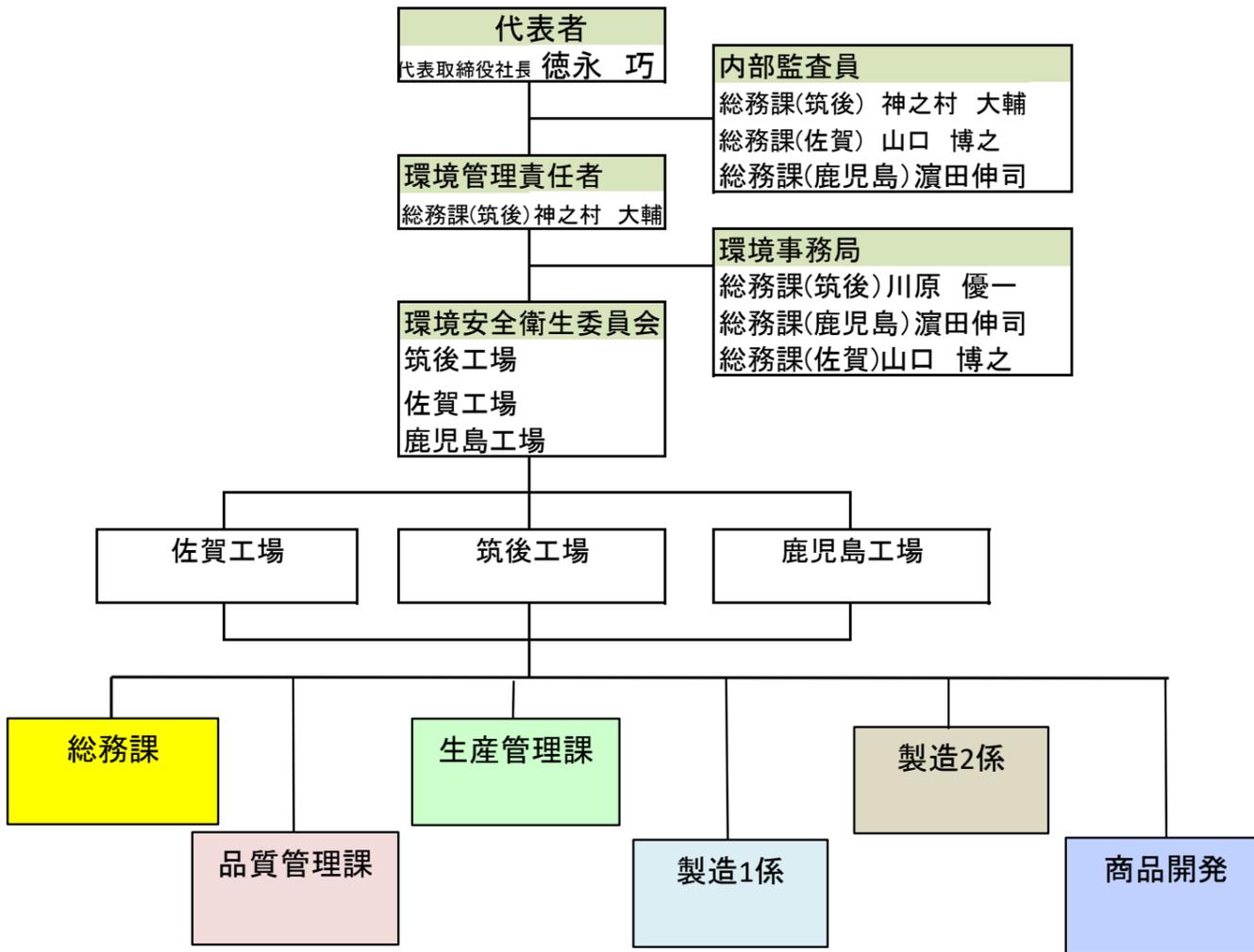
登録組織名: 株式会社デリカフレンズ  
対象事業所: 本社・筑後工場、佐賀工場、鹿児島工場

対象外: なし

活動: 弁当、おにぎり、調理パンの製造

□事業所の紹介





	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、環境安全衛生委員会の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
環境安全衛生委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営計画の審議</li> <li>・環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長 工場長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
内部監査チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に関する内部監査の計画</li> <li>・環境に関する内部監査の実施・報告</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	11,092,300	11,168,096	10,799,237
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	t	753,810	696,940	350,550
産業廃棄物排出量	t	2,604,149	2,311,900	2,380,880
食品廃棄物				
発生量		1,125,710	1,176,800	1,231,880
発生抑制量		0	0	0
再生利用量		1,125,710	1,176,800	1,231,880
熱回収量	t	0	0	0
減少量		0	0	0
再生利用以外の量		0	0	0
廃棄物処理量		0	0	0
食品再資源化実施率	%	100%	100%	100%
水使用量	m <sup>3</sup>	456,014	434,016	418,476

※二酸化炭素排出係数 0.479 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 九州電力株式会社の2020年度の調整後の係数

□環境経営目標及びその実績

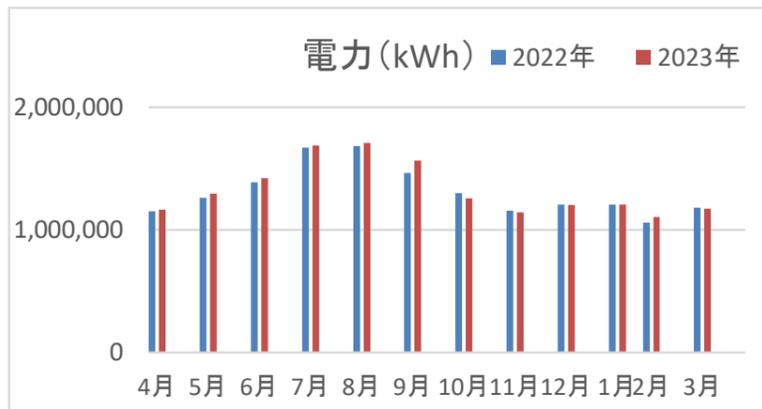
項目	年度	単位	基準値	2023年		評価	2024年	2025年
			(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	原単位	kg-CO <sub>2</sub>	7,524,072	7,448,831	7,626,583	×	7,373,590	7,298,349
		kWh	15,707,874	15,550,795	15,921,886	×		
		基準年度比	2022年	99%	101%		98%	97%
		kg-CO <sub>2</sub> /千円	0.387	0.383	0.322	○	0.379	0.376
LPGによる二酸化炭素削減	原単位	kg-CO <sub>2</sub>	5,167,689	5,116,012	4,717,077	○	5,064,335	5,012,658
		kg	1,722,563	1,705,337	1,572,359	○		
		基準年度比	2022年	99%	91%		98%	97%
		kg-CO <sub>2</sub> /千円	0.333	0.330	0.250	○	0.327	0.323
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO <sub>2</sub>	12,691,760	12,564,843	12,343,660		12,437,925	12,311,007
一般廃棄物の削減	原単位	kg	379,830	376,032	350,550	○	372,233	368,435
		基準年度比	2022年	99%	91%		98%	97%
廃プラの削減	原単位	kg	715,700	708,543	646,740	○	701,386	694,229
		基準年度比	2022年	99%	0.90364678		0.98	0.97
食品廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上	原単位	自主目標	—	95%	100%	○	95%	95%
		食り法目標	—	80%	100%	○		
		基準発生原単位	kg/百万円	—	177	65	○	177
水道水の削減	原単位	m <sup>3</sup>	434,016	429,676	418,476	○	425,335	420,995
		基準年度比	2022年	99%	96%		98%	97%
		m <sup>3</sup> /千円	0.015	0.015	0.012	○	0.015	0.015
化学物質の適正管理			行動目標(次項による)					
環境に配慮した製品・サービスへの取組			行動目標(次項による)					

**□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画**

数値目標: ○達成 ×未達成

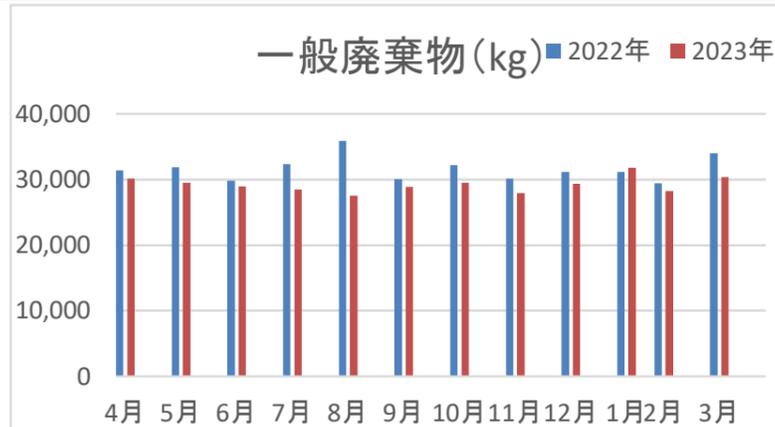
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
<b>電力による二酸化炭素削減</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	筑後工場前年比97%、佐賀工場前年比97%、鹿児島工場106%、全体101% 筑後工場、佐賀工場→製造課社員・工場従業員の協力により不要箇所の空運転防止、主電源切断、照明のLED化人感センサー取付等を行い削減、鹿児島工場→前年度の設備の増設、2023年12月の玉子焼機2台目増設のため増加、次年度も引き続き削減に努めていく。
・空調温度の適正化(事務所等:冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・仕事の効率化による定時退社の実施	○	
・生産工程の待機時間短縮	○	



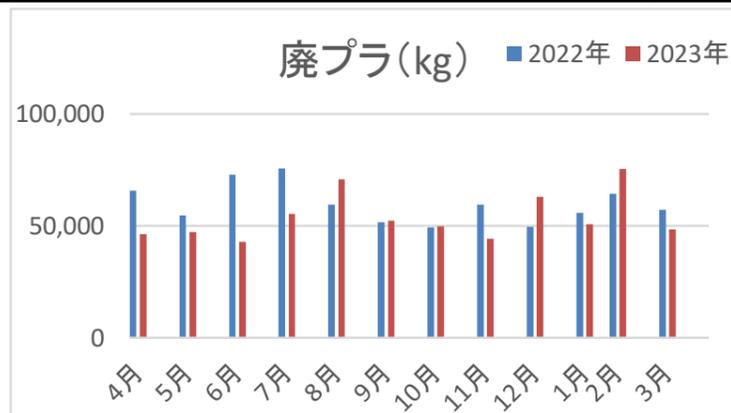
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	1,153,100	1,262,547	1,387,900	1,668,559	1,683,975	1,463,749	1,298,376	1,157,335	1,205,791	1,205,791	1,058,113	1,181,589
2023年	1,162,487	1,293,042	1,421,152	1,689,030	1,706,931	1,563,931	1,257,037	1,142,271	1,200,744	1,207,488	1,105,337	1,172,436

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	前年比92%と目標達成引き続き削減に努めていく。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・コピー用紙の削減	○	



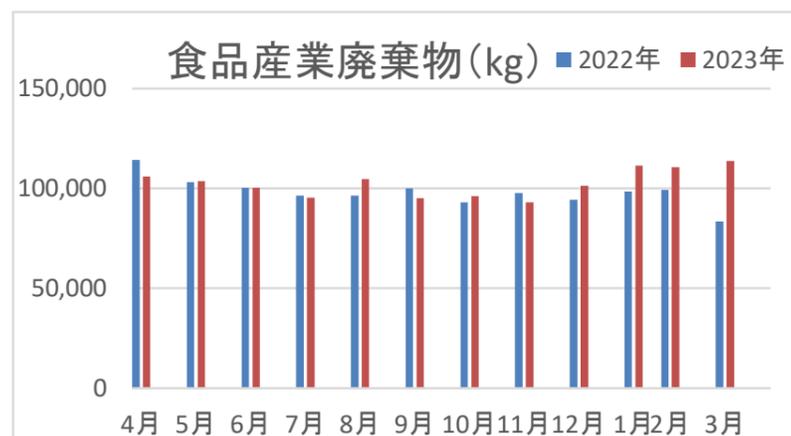
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	31,360	31,890	29,840	32,350	35,870	30,080	32,160	30,110	31,180	31,180	29,400	33,990
2023年	30,100	29,490	28,980	28,480	27,530	28,840	29,480	27,920	29,330	31,810	28,200	30,390

廃プラの削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	前年比90%と目標達成引き続き削減に努めていく。
・包材発注量の精度アップ	○	
・包装不良の削減	○	
・分別の徹底	○	



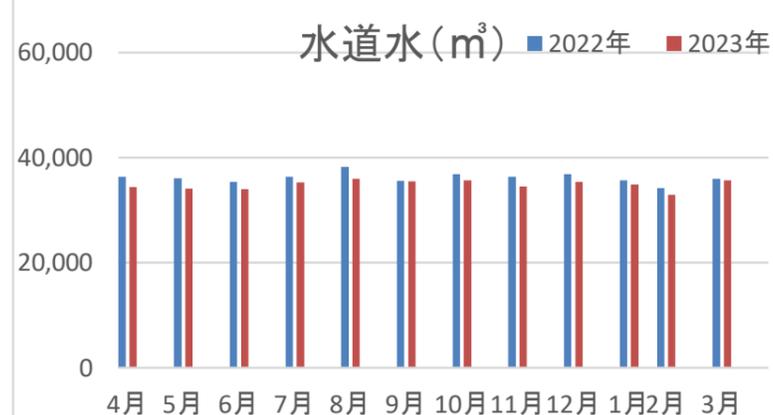
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	65,690	54,590	72,820	75,770	59,550	51,640	49,440	59,430	49,540	55,810	64,340	57,080
2023年	46,360	47,350	42,760	55,410	70,900	52,370	49,830	44,140	63,020	50,680	75,520	48,400

食品廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		筑後工場前年比98%、佐賀工場前年比91%と目標達成、鹿児島工場前年比115%と未達、鹿児島工場玉子の生産量増加のため増加、見込みの精度アップ、製造機械のトラブルを削減し引き続き削減に努めていく。
・原材料発注量の精度アップ	○	
・加工ロスの削減	○	
・在庫管理の強化による不良在庫削減	○	
・分別の徹底	○	
・再資源化先の開拓	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	114,430	103,250	100,340	96,320	96,320	100,080	93,050	97,846	94,480	98,520	99,390	83,480
2023年	105,990	103,790	100,340	95,300	104,720	95,210	96,260	93,080	101,420	#####	110,660	113,660

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	筑後工場前年比92%、佐賀工場89%と達成、鹿児島工場前年比103%と未達、玉子生産量増加のため、引き続き削減に努めていく
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・洗浄時の流しっぱなしをしない	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	36,404	36,117	35,343	36,364	38,289	35,556	36,909	36,348	36,824	35,683	34,163	36,018
2023年	34,362	34,126	33,994	35,323	35,938	35,510	35,679	34,550	35,404	34,935	32,939	35,717

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無**

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(動植物性残さ、廃プラ、汚泥、廃油等)
食品リサイクル法	食品廃棄物
容器包装リサイクル法	容器包装
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁法	煮湯設備、洗浄設備
下水道法	除害施設
浄化槽法	浄化槽
消防法(危険物)	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
省エネ法	特定事業所

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

食品リサイクル法の事業者ごとの基準実施率は達成しています。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

**□外部からの環境上の苦情・要請等**

外部からの環境上の苦情・要請などはありませんでした。

**□緊急事態対応の試行・訓練**

緊急事態の想定: 火災の発生	
■実施日 2023年7月18日	■実施場所: デリカフレンズ鹿児島工場
■参加者 鹿児島工場従業員	
■実施内容: <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 報告訓練	
■評価:	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
通報訓練 	消火訓練 
避難訓練 報告訓練 	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年4月6日

【前回の指示への取組結果】	
<情報>	<見直し・指示>
◇自社を取り巻く環境問題の変化	◇環境経営方針
お取引先への売上増加や自社の会社方針での売り上げ拡大で製造数増加や製造時間が増えて電力やLPG水の使用量が増えることも予測される。	環境変化があることは予測しているが環境方針の見直しは考えていない。
◇環境経営目標・計画の達成状況	◇環境経営目標・環境経営計画
	目標や計画に対し100%の達成を目指す。
<p>環境経営方針      <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし      <input type="checkbox"/> 変更あり</p> <p>環境経営目標・計画 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし      <input type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直すこと</p> <p>実施体制他        <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし      <input type="checkbox"/> 変更あり</p>	